

木材販路開拓のための

# 海外市場情報

2006年11月号(No.8)

---

## 目次

木材市場の流通状況 .....	1
1. 国産材.....	1
2. 輸入材.....	3
(1) 丸太.....	3
(2) 製材品.....	6
(3) 単板.....	7
(4) 合板.....	8
(5) パーティクルボード.....	9
(6) ファイバーボード.....	10
(7) 木材チップ.....	11
木材価格動向.....	12
1. 国産材.....	12
(1) 丸太.....	12
(2) 製材品.....	13
(3) 木質パネル.....	14
2. 輸入材.....	15
(1) 丸太.....	15
(2) 製材品.....	16
(3) 合板.....	17

## 木材市場の流通状況

## 1. 国産材

韓国における国産材の樹種別丸太出荷量は、表 1-1 のとおり、2001 年度は 55,540m<sup>3</sup>であったが、2005 年度には 29.8%増加し、72,109m<sup>3</sup>となった。

樹種別には、針葉樹は増加しているが広葉樹は減少している。2005 年度の針葉樹丸太の出荷量は 67,918m<sup>3</sup>(94.2%)、広葉樹は 4,191m<sup>3</sup>(5.8%)で、国産材丸太の大部分は針葉樹が占めている。針葉樹の主な流通樹種は、カラマツ、リギダマツ、アカマツである。

表 1-1 国産材の樹種別丸太出荷量の推移

(単位 : m<sup>3</sup>,%)

年度	合計	針葉樹							広葉樹
		小計	アカマツ	カラマツ	ゴヨウマツ	リギダマツ	スギ	その他	
2001	55,540	47,180	9,973	22,086	1,454	11,043	819	1,805	8,360
	100.0	84.9	18.0	39.8	2.6	19.9	1.5	3.2	15.1
2002	58,426	52,394	9,353	21,087	2,515	16,878	1,811	750	6,032
	100.0	89.7	16.0	36.1	4.3	28.9	3.1	1.3	10.3
2003	56,395	52,671	13,327	18,740	1,956	16,074	1,256	1,318	3,724
	100.0	93.4	23.6	33.2	3.5	28.5	2.2	2.3	6.6
2004	66,093	63,807	14,082	24,948	2,528	20,038	1,488	723	2,286
	100.0	96.5	21.3	37.7	3.8	30.3	2.3	1.1	3.5
2005	72,109	67,918	11,299	34,166	2,127	16,866	2,855	605	4,191
	100.0	94.2	15.7	47.4	2.9	23.4	4.0	0.8	5.8

資料 : 山林組合中央会

国産材丸太の流通経路は以下の4つに分けられる。森林所有者が直接伐採して流通する第1、第2経路が13.8%を占める。伐採業者を通じて流通する第3、第4経路は86.2%となっており、国産材は仲卸業者の役割が非常に大きいといえる(図1-1)。

- 第1経路 : 森林所有者 仲卸業者 需要先 (8.6%)
- 第2経路 : 森林所有者 需要先 (5.2%)
- 第3経路 : 森林所有者 伐採業者 仲卸業者 需要先 (64.0%)
- 第4経路 : 森林所有者 伐採業者 需要先 (22.2%)

需要先に供給される木材のうち、製材用に使用される木材は全流通量の 15.2% に達する。製材用のうち、最も等級の高いアカマツ丸太は、主に古建築または韓屋(韓国の伝統的住宅)の構造材として使用される。カラマツは、ログハウスの構造材と木造住宅の内・外装材に使用されている。

全流通量の 62.4% を占めるパルプ・ボード用は、廃材の収集および輸入丸太の量と価格に連動して供給価格が決定される

坑木として使われるアカマツ丸太は、石炭産業の停滞によって需要が減少し、全流通量の 6.8% となっている。

木炭・木酢液は、機能性健康製品として需要が少しずつ増加している。特に土壌改良、親環境資材、河川浄化などの需要が増加し、木炭・木酢液用に消費される木材は全流通量の 2.6% を占める。

椎茸用のホダ木は 10.1% となっている。

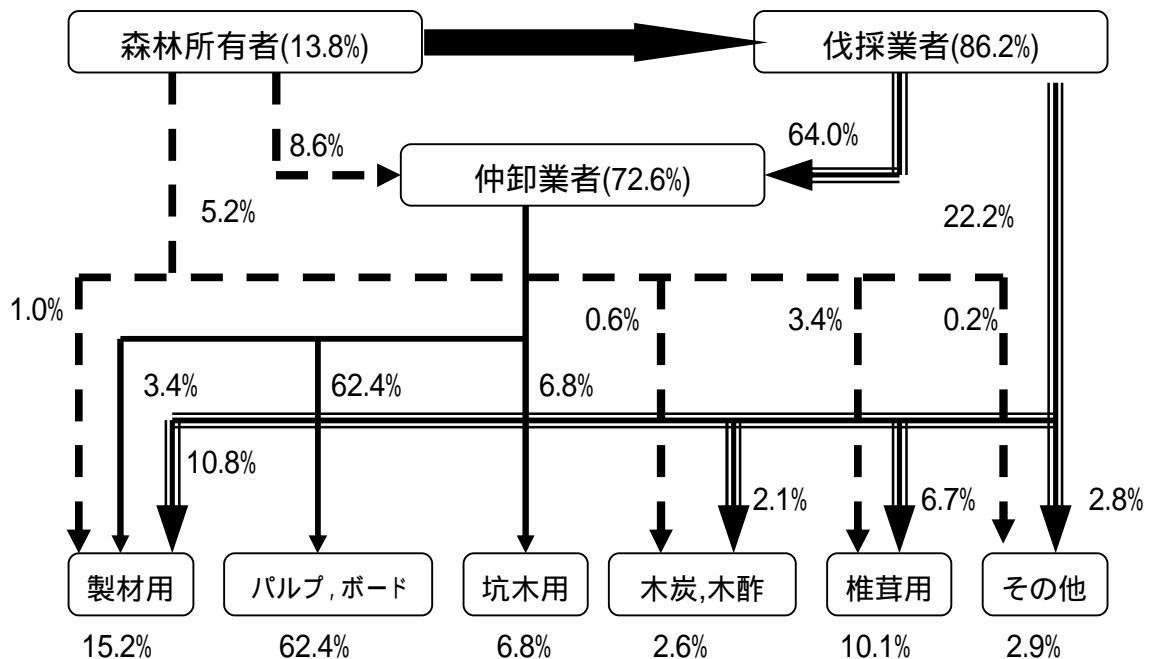


図 1-1 国産材の流通経路

資料: 国立山林科学院林業経済課 2005 年

## 2. 輸入材

韓国の輸入木材は、丸太、製材品、単板、合板、パーティクルボード、繊維板、チップ、木炭などに分けられる。韓国の輸入木材の総流通量は表 1-2 のとおり、2002 年の 12,872 千 m<sup>3</sup> をピークに、その後は毎年減少している。2005 年には 10,900 千 m<sup>3</sup> まで減少した。2005 年度の輸入木材の割合は、丸太が 57.3% と最も大きく、合板(11.4%)、チップ(9.0%)、製材品(7.1%)、パーティクルボード(7.0%)と続いている。

表 1-2 木材輸入量の推移

(単位: 千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	丸太	製材品	単板	合板	パーティクルボード	ファイバーボード	チップ	成形木材	木炭
2000	10,766	6,735	729	246	980	485	380	1,084	33	95
	100.0	62.6	6.8	2.3	9.1	4.5	3.5	10.1	0.3	0.9
2001	11,601	7,119	761	336	1,095	595	491	1,068	36	100
	100.0	61.4	6.6	2.9	9.4	5.1	4.2	9.2	0.3	0.9
2002	12,872	7,657	848	390	1,340	867	753	868	36	114
	100.0	59.5	6.6	3.0	10.4	6.7	5.8	6.7	0.3	0.9
2003	12,088	7,165	763	333	1,444	681	582	969	42	109
	100.0	59.3	6.3	2.8	11.9	5.6	4.8	8.0	0.3	0.9
2004	11,284	6,541	834	303	1,203	867	343	1,039	44	111
	100.0	58.0	7.4	2.7	10.7	7.7	3.0	9.2	0.4	1.0
2005	10,900	6,243	775	305	1,242	759	416	985	56	119
	100.0	57.3	7.1	2.8	11.4	7.0	3.8	9.0	0.5	1.1

資料: 山林庁国際協力課

## (1) 丸太

丸太輸入量の推移を見ると、表 1-3 のとおり、2002 年に 7,657 千 m<sup>3</sup> となったが、その後は毎年減少し、2005 年は 6,243 千 m<sup>3</sup> まで低下した。輸入丸太の針葉樹の割合は 2002 年に 90% を越え、2005 年は 91.8% となっている。

針葉樹丸太の国別輸入量についてみると、ニュージーランドからの輸入量は 2002 年に 4,223 千 m<sup>3</sup>(55%) に達したが、その後次第に減少し、2005 年は 2,932 千 m<sup>3</sup>(47%) となった。ロシアからの輸入割合は 20% 前後で推移している。

広葉樹では、マレーシアとパプアニューギニアからの輸入量は減少しているが、ソロモンからの輸入量は増加している。

表 1-3 国別丸太輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

区分		2000	2001	2002	2003	2004	2005
合 計		6,735	7,119	7,657	7,165	6,541	6,243
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
針 葉 樹	小 計	5,801	6,348	6,993	6,532	5,879	5,731
		86.1	89.2	91.3	91.2	89.9	91.8
	ニュージーランド	3,145	4,136	4,223	4,033	3,174	2,932
		46.7	58.1	55.2	56.3	48.5	47.0
	チリ	92	15	157	6	100	2
		1.4	0.2	2.1	0.1	1.5	0.0
	オーストラリア	544	343	679	514	464	471
		8.1	4.8	8.9	7.2	7.1	7.5
	米 国	304	145	166	257	393	426
		4.5	2.0	2.2	3.6	6.0	6.8
	ロシア	1,586	1,521	1,505	1,467	1,385	1,392
		23.5	21.4	19.7	20.5	21.2	22.3
	その他	130	188	263	255	363	508
		1.9	2.6	3.4	3.6	5.5	8.1
広 葉 樹	小 計	934	771	664	633	662	512
		13.9	10.8	8.7	8.8	10.1	8.2
	マレーシア	320	191	196	152	132	100
		4.8	2.7	2.6	2.1	2.0	1.6
	パプアニューギニア	316	230	177	165	170	100
		4.7	3.2	2.3	2.3	2.6	1.6
	ソロモン	121	126	174	222	272	211
		1.8	1.8	2.3	3.1	4.2	3.4
	ニュージーランド	149	4	3	2	4	1
		2.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
	その他	28	220	114	92	84	100
		0.4	3.1	1.5	1.3	1.3	1.6

資料: 山林庁国際協力課

輸入丸太は図 1-2 に示すとおり、合板・ボード類産業に 14%が供給され、木造住宅用に 7.3%、楽器家具用に 2.3%、その他用材に 25.8%が供給されている。製材工場で生産された製材品は、20%が構造材に、18.7%が架設材に、8.9%が流通材に供給される。

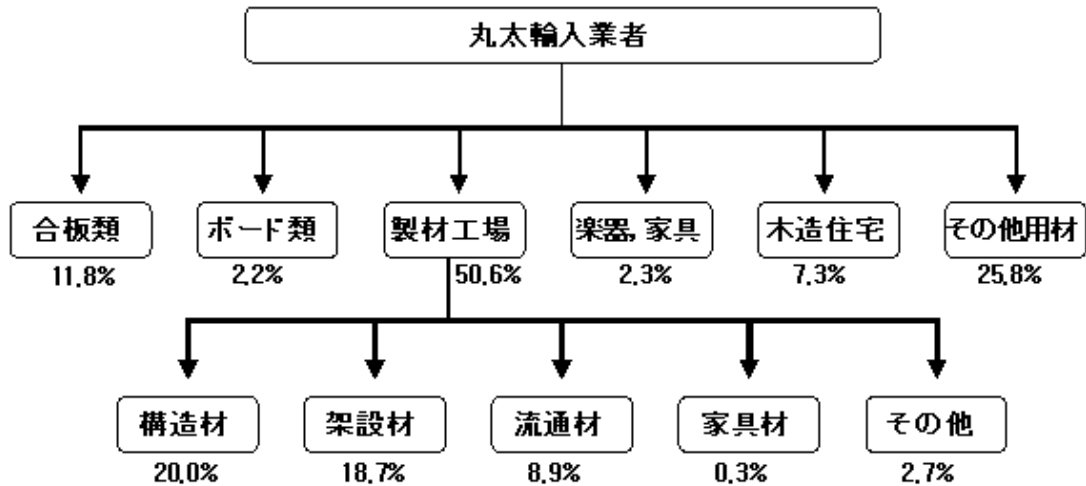


図 1-2 輸入丸太の流通経路

資料: 国立山林科学院林業経済課 2005 年

## (2) 製材品

韓国の製材品の主な輸入相手国は、マレーシア、インドネシア、チリ、中国、ニュージーランド、カナダ、ブラジル、ロシアなどである。マレーシアとインドネシアの輸入量は減少傾向にあるが、チリ、カナダ、ロシアなどは増加している(表 1-4)。

表 1-4 国別製材品輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	マレーシア	インドネシア	米国	チリ	中国	NZ	カナダ	ブラジル	ロシア	その他
2000	729	162	173	62	45	115	39	50	33	24	26
	100.0	22.2	23.7	8.5	6.2	15.8	5.3	6.9	4.5	3.3	3.6
2001	761	200	192	45	53	60	71	48	19	46	27
	100.0	26.3	25.2	5.9	7.0	7.9	9.3	6.3	2.5	6.0	3.5
2002	848	168	222	46	52	60	104	70	17	80	29
	100.0	19.8	26.2	5.4	6.1	7.1	12.3	8.3	2.0	9.4	3.4
2003	763	146	171	41	69	54	81	90	11	71	29
	100.0	19.1	22.4	5.4	9.0	7.1	10.6	11.8	1.4	9.3	3.8
2004	834	161	138	33	79	48	83	138	8	107	39
	100.0	19.3	16.5	4.0	9.5	5.8	10.0	16.5	1.0	12.8	4.7
2005	775	132	114	33	88	55	76	95	10	117	55
	100.0	17.0	14.7	4.3	11.4	7.1	9.8	12.3	1.3	15.1	7.1

資料: 山林庁国際協力課

## (3) 単板

単板輸入は 2002 年以降、減少傾向にある。主な輸入相手国はマレーシアで、70-80%を占めている(表 1-5)。

表 1-5 国別単板輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	マレーシア	米国	中国	ドイツ	チリ	ブラジル	その他
2000	246	192	6	6	2	9	24	7
	100.0	78.0	2.4	2.4	0.8	3.7	9.8	2.8
2001	336	293	7	8	3	9	6	10
	100.0	87.2	2.1	2.4	0.9	2.7	1.8	3.0
2002	390	303	10	13	3	6	1	54
	100.0	77.8	2.6	3.3	0.8	1.5	0.3	13.8
2003	333	236	9	18	3	1	1	65
	100.0	70.9	2.7	5.4	0.9	0.3	0.3	19.5
2004	303	218	6	16	2	0	1	60
	100.0	71.9	2.0	5.3	0.7	0.0	0.3	19.8
2005	305	238	4	14	2	0	1	46
	100.0	78.0	1.3	4.6	0.7	0.0	0.3	15.1

資料: 山林庁国際協力課



## (4)合板

表 1-6 のように、2005 年の合板輸入の主な相手国は、マレーシアが 46.8%(58 万 m<sup>3</sup>)、インドネシアが 26.6%(33 万 m<sup>3</sup>)、中国が 19.4%(24 万 m<sup>3</sup>)となっている。2003 年以降、インドネシアからの輸入は減少傾向にあり、マレーシア、中国からの輸入が増加している。

表 1-6 国別合板輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	インドネシア	マレーシア	中国	ミャンマー	フィンランド	日本	ドイツ	その他
2000	980	486	268	168	39	1	5	1	13
	100.0	49.6	27.3	17.1	4.0	0.1	0.5	0.1	1.3
2001	1,095	440	431	155	49	8	3	2	9
	100.0	40.2	39.4	14.2	4.5	0.7	0.3	0.2	0.8
2002	1,340	488	515	239	71	16	2	1	9
	100.0	36.4	38.4	17.8	5.3	1.2	0.1	0.1	0.7
2003	1,444	520	616	222	52	26	2	1	6
	100.0	36.0	42.7	15.4	3.6	1.8	0.1	0.1	0.4
2004	1,203	351	508	261	47	25	1	1	10
	100.0	29.2	42.2	21.7	3.9	2.1	0.1	0.1	0.8
2005	1,242	330	581	241	47	29	1	2	13
	100.0	26.6	46.8	19.4	3.8	2.3	0.1	0.2	1.0

資料: 山林庁国際協力課

## (5) パーティクルボード

パーティクルボードの輸入動向をみると、タイ、マレーシアが増加傾向にあり、ベルギーとインドネシアからの輸入は急減した。2005年の輸入割合は、タイが65.2%(49万m<sup>3</sup>)、マレーシアが16.1%(12万m<sup>3</sup>)を占めている(表1-7)。

表1-7 国別パーティクルボード輸入量の推移

(単位:千m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	タイ	ベルギー	マレーシア	オーストラリア	インドネシア	チリ	イタリア	カナダ	その他
2000	485	144	78	108	21	72	20	7	15	20
	100.0	29.7	16.1	22.3	4.3	14.8	4.1	1.4	3.1	4.1
2001	595	146	136	93	61	56	31	33	13	26
	100.0	24.5	22.9	15.6	10.3	9.4	5.2	5.5	2.2	4.4
2002	867	126	246	35	45	52	40	85	17	221
	100.0	14.5	28.4	4.0	5.2	6.0	4.6	9.8	2.0	25.4
2003	681	124	134	50	12	54	45	6	15	241
	100.0	18.2	19.7	7.3	1.8	7.9	6.6	0.9	2.2	35.4
2004	867	255	81	83	2	31	25	32	6	352
	100.0	29.4	9.3	9.6	0.2	3.6	2.9	3.7	0.7	40.6
2005	759	495	6	122		17	15	1	10	93
	100.0	65.2	0.8	16.1	0.0	2.2	2.0	0.1	1.3	12.3

資料: 山林庁国際協力課

## (6) ファイバーボード

ファイバーボードの輸入動向は、オーストラリア、インドネシア、タイなどは減少傾向にあり、中国、ニュージーランドなどは増加傾向にある。2005年の輸入割合は、中国が33.7%(14万 m<sup>3</sup>)、オーストラリアが18.8%(7.8万 m<sup>3</sup>)、タイが12.5%(5.2万 m<sup>3</sup>)となっている(表1-8)。

表1-8 国別ファイバーボード輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	オーストラリア	インドネシア	タイ	NZ	マレーシア	カナダ	米国	中国	チリ	その他
2000	380	84	86	85	35	1	42	10	8	5	24
	100.0	22.1	22.6	22.4	9.2	0.3	11.1	2.6	2.1	1.3	6.3
2001	491	124	110	86	53	45	23	5	3	1	41
	100.0	25.3	22.4	17.5	10.8	9.2	4.7	1.0	0.6	0.2	8.4
2002	753	109	93	94	53	98	38	12	16	13	227
	100.0	14.5	12.4	12.5	7.0	13.0	5.0	1.6	2.1	1.7	30.1
2003	582	108	78	56	61	65	56	1	12	9	136
	100.0	18.6	13.4	9.6	10.5	11.2	9.6	0.2	2.1	1.5	23.4
2004	343	32	37	40	34	51	16		25	20	88
	100.0	9.3	10.8	11.7	9.9	14.9	4.7	0.0	7.3	5.8	25.7
2005	416	78	29	52	46	39	5	2	140	2	23
	100.0	18.8	7.0	12.5	11.1	9.4	1.2	0.5	33.7	0.5	5.5

資料: 山林庁国際協力課

## (7)木材チップ

チップの輸入動向は、中国、南アフリカなどは減少傾向にあり、オーストラリア、ベトナムなどは増加する傾向にある。2005年のチップ輸入割合は、オーストラリアが26.8%(26万 m<sup>3</sup>)、中国が21.7%(21万 m<sup>3</sup>)、アメリカが20.5%(20万 m<sup>3</sup>)、ベトナムが14.4%(14万 m<sup>3</sup>)となっている(表1-9)。

表1-9 国別チップ輸入量の推移

(単位:千 m<sup>3</sup>, %)

年度	合計	中国	米国	オーストラリア	南アフリカ	ベトナム	タイ	NZ	その他
2000	1,084	473	285	181	72	22	0	47	2
	100.0	43.7	26.3	16.7	6.7	2.1	0.0	4.4	0.2
2001	1,068	355	295	232	137	31	12	3	2
	100.0	33.3	27.7	21.7	12.9	2.9	1.1	0.3	0.2
2002	868	318	131	227	85	34	33	40	1
	100.0	36.7	15.0	26.1	9.7	3.9	3.8	4.6	0.1
2003	969	246	82	214	170	144	53	59	1
	100.0	25.4	8.5	22.1	17.6	14.9	5.5	6.1	0.1
2004	1,039	304	224	271	86	78	45	29	0
	100.0	29.3	21.6	26.1	8.3	7.5	4.3	2.8	0.0
2005	985	213	202	264	84	142	65	14	1
	100.0	21.7	20.5	26.8	8.5	14.4	6.6	1.4	0.1

資料: 山林庁国際協力課

## 木材価格動向

## 1. 国産材

## (1) 丸太

国産丸太の代表的な樹種として、アカマツ、ゴヨウマツ、カラマツ、コナラ類があげられる。表 2-1 に示すように、国産丸太の価格は、アカマツ(30cm 以上×2.7m)が最も高く、コナラ類丸太(30cm 未満×1.8m)が最も低い傾向がみられる。コナラ類は 12cm 未満×1.2m の椎茸用丸太が、一般用材(30cm 未満×1.8m)より高い価格を形成している。

アカマツ丸太(30cm 以上×2.7m)の価格は、2002 年の 30 万ウォン/m<sup>3</sup>から 2005 年には 14%上昇して 35 万ウォン/m<sup>3</sup>となった。一方、2005 年度のゴヨウマツ、カラマツ、コナラ類の丸太価格は下落傾向にある。

表 2-1 国産丸太価格推移

(単位:ウォン/m<sup>3</sup>, %)

年度	アカマツ		ゴヨウマツ		カラマツ		コナラ類	
	径<30cm	径>30cm	径<30cm	径>30cm	径<30cm	径>30cm	径<30cm	径<12cm
	長:1.8m	長:2.7m	長:1.8m	長:2.7m	長:1.8m	長:2.7m	長:1.8m	長:1.2m
2002	110,785	306,650	105,205	146,850	96,983	136,631	92,143	220,833
	100	100	100	100	100	100	100	100
2003	110,161	331,207	109,733	167,923	96,680	146,716	79,739	205,724
	99	108	104	114	100	107	87	93
2004	112,223	345,937	114,000	220,375	93,104	153,771	75,000	210,000
	101	113	108	150	96	113	81	95
2005	110,925	350,000	48,000	125,750	89,166	131,667	75,000	169,400
	100	114	46	86	92	96	81	77

資料: 山林組合中央会

## (2) 製材品

表 2-2 のとおり、国産製材品の価格は、ゴヨウマツが 2000 年の 24 万ウォン/m<sup>3</sup> から 2005 年には 22%上昇の 29 万ウォン/m<sup>3</sup> となり、アカマツは 23 万ウォン/m<sup>3</sup> から 54% 上昇の 35 万ウォン/m<sup>3</sup> となった。カラマツは 21 万ウォン/m<sup>3</sup> から 11% 上昇して 23 万ウォン/m<sup>3</sup> となった。アカマツの製材品価格が急騰していることがわかる。

表 2-2 国産製材品価格推移

(単位:ウォン/m<sup>3</sup>, %)

年度	ゴヨウマツ	アカマツ	カラマツ
	厚 3.9cm 幅 5.1cm 長 2.7m	厚 3.9cm 幅 5.1cm 長 2.7m	厚 3.9cm 幅 5.1cm 長 2.7m
2000	243,000	232,060	216,697
	100	100	100
2001	240,000	268,078	230,918
	99	116	107
2002	257,957	286,448	232,516
	106	123	107
2003	265,500	297,849	226,347
	109	128	104
2004	277,500	337,306	243,506
	114	145	112
2005	297,500	356,958	239,958
	122	154	111

資料: 山林庁木材利用課

## (3)木質パネル

国産材の木質パネル価格は全般的に下落傾向にある。合板が最も高い価格帯を形成しているが、2000年の14,481ウォン/枚から2005年には92%まで下落し、13,394ウォン/枚となった。また、MDF(9mm×1200mm×2400mm)は2000年の10,596ウォン/枚から2005年には73%まで下落し、7,785ウォン/枚となっている(表2-3)。

表2-3 国産木質パネル価格推移

(単位:ウォン/枚, %)

年度	合板	パーティクルボード		ファイバーボード	
	厚 12mm 幅 1220mm 長 2400mm	厚 12mm 幅 1200mm 長 2400mm	厚 15mm 幅 1200mm 長 2400mm	厚 3mm 幅 1200mm 長 2400mm	厚 9mm 幅 1200mm 長 2400mm
2000	14,481	8,099	9,190	3,508	10,596
	100	100	100	100	100
2001	14,104	8,029	9,094	3,440	10,050
	97	99	99	98	95
2002	13,988	7,271	8,223	3,023	8,909
	97	90	89	86	84
2003	13,841	7,100	7,859	3,030	8,750
	96	88	86	86	83
2004	14,048	7,837	8,863	3,107	7,960
	97	97	96	89	75
2005	13,394	6,391	7,043	2,910	7,785
	92	79	77	83	73

資料: 山林庁木材利用課

## 2. 輸入材

## (1) 丸太

輸入丸太の価格推移をみると、ニュージーランド材の丸太輸入価格は、A-grade が 2000 年の 74\$/m<sup>3</sup> から 2005 年には 99\$/m<sup>3</sup> へと上昇し、KS-grade が 66\$/m<sup>3</sup> から 96\$/m<sup>3</sup> へと上昇している。パプアニューギニア材の丸太輸入価格は Taun > Malas > G3Mix の順で高くなっており、上昇傾向にある。また、ソロモン材の丸太輸入価格についてみると、Taun > dillenia > Mix の順で高くなっており、こちらも上昇傾向にある(表 2-4)。

表 2-4 輸入丸太の価格推移

(単位: US\$/m<sup>3</sup>, %)

年度	ニュージーランド材			パプアニューギニア材			ソロモン材		
	A-grade	KS-grade	パルプ材	Taun	Malas	G3Mix	Taun	dillenia	Mix
2000	74	66	55	151	124	116	148	139	120
	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2001	66	60	50	139	111	103	134	125	116
	89	91	91	92	90	89	91	90	97
2002	68	64	50	144	119	117	142	125	113
	92	97	91	95	96	101	96	90	94
2003	78	75	56	144	119	112	147	126	115
	105	114	102	95	96	97	99	91	96
2004	96	92	76	166	152	136	167	146	134
	130	139	138	110	123	117	113	105	112
2005	99	96	78	182	160	144	185	160	149
	134	145	142	121	129	124	125	115	124

資料: 国立山林科学院林業経済課



## (2) 製材品

輸入製材品の価格についてみると、ロシア材の輸入価格は 2000 年の 20 万ウォン/m<sup>3</sup>前後から 2005 年には 30 万ウォン/m<sup>3</sup>前後へと上昇した。ニュージーランド材も 18 万ウォン/m<sup>3</sup>前後から 20 万ウォン/m<sup>3</sup>超へと上昇している。ラワンは一貫して上昇傾向にあり、2005 年は 69 万-76 万ウォン/m<sup>3</sup>となっている(表 2-5)。

表 2-5 輸入製材品の価格推移

(単位:ウォン/m<sup>3</sup>, %)

年度	ロシア材		ニュージーランド材		ラワン	
	厚 3.3cm 幅 3.3cm 長 3.6m	厚 4.5cm 幅 4.5cm 長 3.6m	厚 4.5cm 幅 4.5cm 長 3.6m	厚 9.0cm 幅 9.0cm 長 3.6m	厚 4.5cm 幅 12.0cm 長 3.6m	厚 3.6cm 幅 15.0cm 長 3.6m
2000	-	202,000	187,000	178,000	558,000	612,500
	-	100	100	100	100	100
2001	-	281,625	235,125	226,125	577,500	648,750
	-	139	126	127	103	106
2002	303,250	314,750	247,250	238,250	630,000	705,000
	100	156	132	134	113	115
2003	292,500	290,000	218,750	212,250	645,000	725,000
	96	144	117	119	116	118
2004	331,875	331,875	250,125	250,125	675,000	765,000
	109	164	134	141	121	125
2005	269,750	271,250	218,000	212,750	690,000	762,500
	89	134	117	120	124	124

資料: 山林庁木材利用課

## (3) 合板

輸入合板の価格は下落傾向にあり、2005 年では 3mm × 1220mm × 2400mm が 3,279 ウォン/枚、12mm × 1220mm × 2400mm が 12,058 ウォン/枚となっている(表 2-6)。

表 2-6 輸入合板の価格推移

(単位:ウォン/枚, %)

年度	厚 3mm 幅 1220mm 長 2400mm	厚 12mm 幅 1220mm 長 2400mm
2000	3,467	13,880
	100	100
2001	3,296	13,392
	95	96
2002	3,050	12,800
	88	92
2003	3,081	13,037
	89	94
2004	3,600	13,142
	104	95
2005	3,279	12,058
	95	87

資料: 山林庁林産物利用課

(本稿は大韓民国の忠南大学校の金 世彬教授、郭 炅鎬博士からの原稿に基づき編集した)